大手前新聞

創刊
2018年(平成30年)
佐伯市役所
大手前開発推進室
☎0972-22-4623

名称選考大詰め

皆様から応募がありました「新しい建物の名称」作品927点の選考作業は、選考委員会による第1次選考で29点に絞り込まれ、その後、第2次選考で選ばれた作品を市内の中・高校生に投票していただく準備を進めています。

数多くの思い入れや、これからの希望を込めた名称を考えていただき、ありがとうございました。次号では、いよいよ決定した名称を皆様にお伝えすることができる予定です。

第2次選考の様子

第2次選考で選ばれた作品は5点です。
この中から新しい建物の名称が決定します。

名称選考作品５点

大手前まちづくり交流館(仮称) 完成予想図

あの日、あの時、あの場所で

さいき今昔物語

華やいだ街並み、かつてたくさんの人が集ったこの場所は、私たちに多くのわくわくを与えてくれました。あの頃の記憶は、いつまでも色褪せることのない特別な思い出ではないでしょうか。

▲昭和50年「春まつりの様子」

当時は、大手前の商業施設に人が溢れ、まるで春の街活気のようなイベントでした。

昭和57年「春まつりの様子」

昭和49年「まちの風景」

新しい街の整備に期待が高まる中、この街の歴史について今後も本紙で紹介していきます。

大手前開発事業プレイベント

11月25日(日)13時から15時まで、大手前野外劇場にて、大手前から始まる新しい文化の創造をテーマに『アルケミストあの空コンサート』を、わくわく大手前隊と佐伯市の共催で行います。

当日は、アルケミストの楽曲演奏に加えて、夢をテーマにした子供たちのイラストやメッセージの発表のほか、市民アーティストによるパフォーマンスも披露されます。

また、公募により集まった市内の小・中学生で編成した「あの空合唱団」がアルケミストと一緒に、名曲「あの空」を熱唱します。大手前まちづくり交流館(仮称)完成後の未来の佐伯に向かって、そして、未来の自分に向かって歌う「がんばれ！」のメッセージを受け取ってください。

〈プロフィール〉
こんやしょうたろう(Vo/作詞)と、井尻慶太(Pf/作曲)の音楽ユニット。

周辺地域での動き

大手前周辺の佐伯市船頭町では、佐伯市内外から出店者が集まり、賑やかな「まち歩きイベント」が開催されています。

大手前開発事業完成後、周辺地域と一緒に広い範囲で行われるイベントを想像すると期待が膨らみます。

今回は
『船頭マチイチ－縦と横－』
日時：平成30年11月18日(日)
10時から15時まで

澄み切った歌声、温かい旋律、痛みと希望を鮮やかに描き出す楽曲は、幅広い年代から支持を集めている。

2016年3月に渡町台小学校や、閉校前の色宮小学校の児童たちと共演し、心温まるコンサートを実現するなど、佐伯市とのつながりも深い。

佐伯がいちばん！

祭りのときなどは、本当に立錐の余地もない様子でした。やがて時代が変わり、大手前は静かな場所となっていきました。

増えていく高齢者の方々が、心豊かに集うことができる場所。若者がその若いエネルギーを発揮できる場所。そして未来を担う子供たちのために、上質の文化・芸術を提供できる場所。そんなこんな欲張りな願いを込めながら、私たち「わくわく大手前隊」は、色々な意見を交わし、計画を練り、活動を続けています。今、建設が進んでいる施設も、そのような中で生まれつつあります。

様々な人々の願いや思いを、十分に満たすものではないかもしれませんが、これからの施設に命を吹き込んでいくことが、私たちの大切な役目だと思っています。

この機会を新たなスタートとして、大手前が豊かな場所として成長していけるよう、私たちは、市民の皆様と一緒に活動していく所存です。

私たちは、新しい街の未来に向かって活動しています。

わくわく大手前隊
副隊長
池田 典子

私が育った大手前地区が、再びわくわくする活気ある街に生まれ変わろうとしています。

その昔、私が子供だった頃は名実ともに佐伯市の中心として、それはそれは賑やかなものでした。